

第3次高島市総合計画の策定にかかる アンケート 調査結果報告書

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2

I 調査の概要

1 調査の目的

「第3次高島市総合計画」の策定に向け、市民の考える高島市の現状や将来像、市政に対する意見等を把握し、計画策定に活用するため実施しました。

2 調査対象

市政モニター：市政モニター登録者

3 調査期間

令和7年5月23日（金）～令和7年6月13日（金）

4 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収状況

	配布数	回収数	回収率
全 体	805件	412件	51.1%
郵 送	301件	142件	47.1%
WEB	504件	270件	53.5%

6 調査結果の表示方法

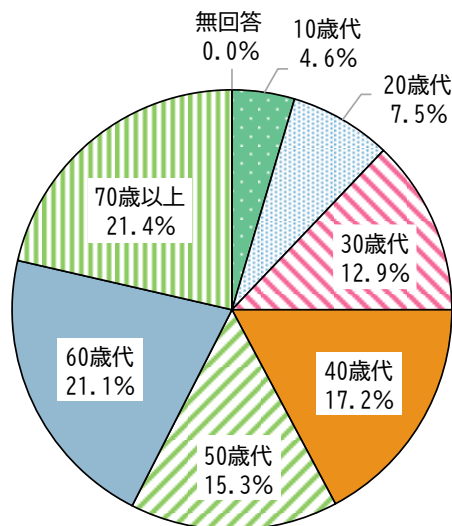
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

問1 あなたの年齢を選択してください。(○印はひとつ)

「70歳以上」の割合が21.4%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が21.1%、「40歳代」の割合が17.2%となっています。

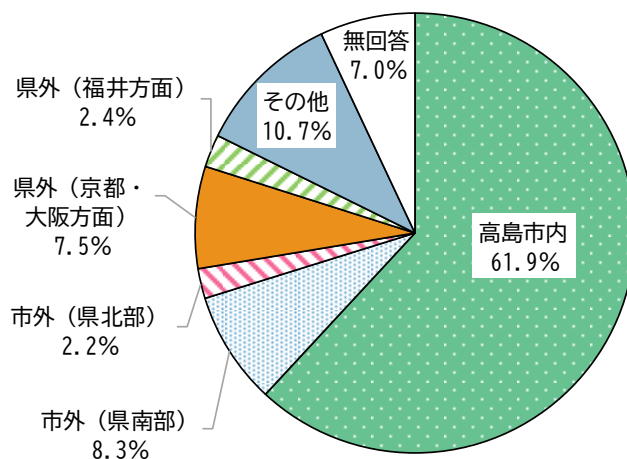
回答者数 = 412



問2 あなたの主な通勤・通学先を選択してください。(○印はひとつ)

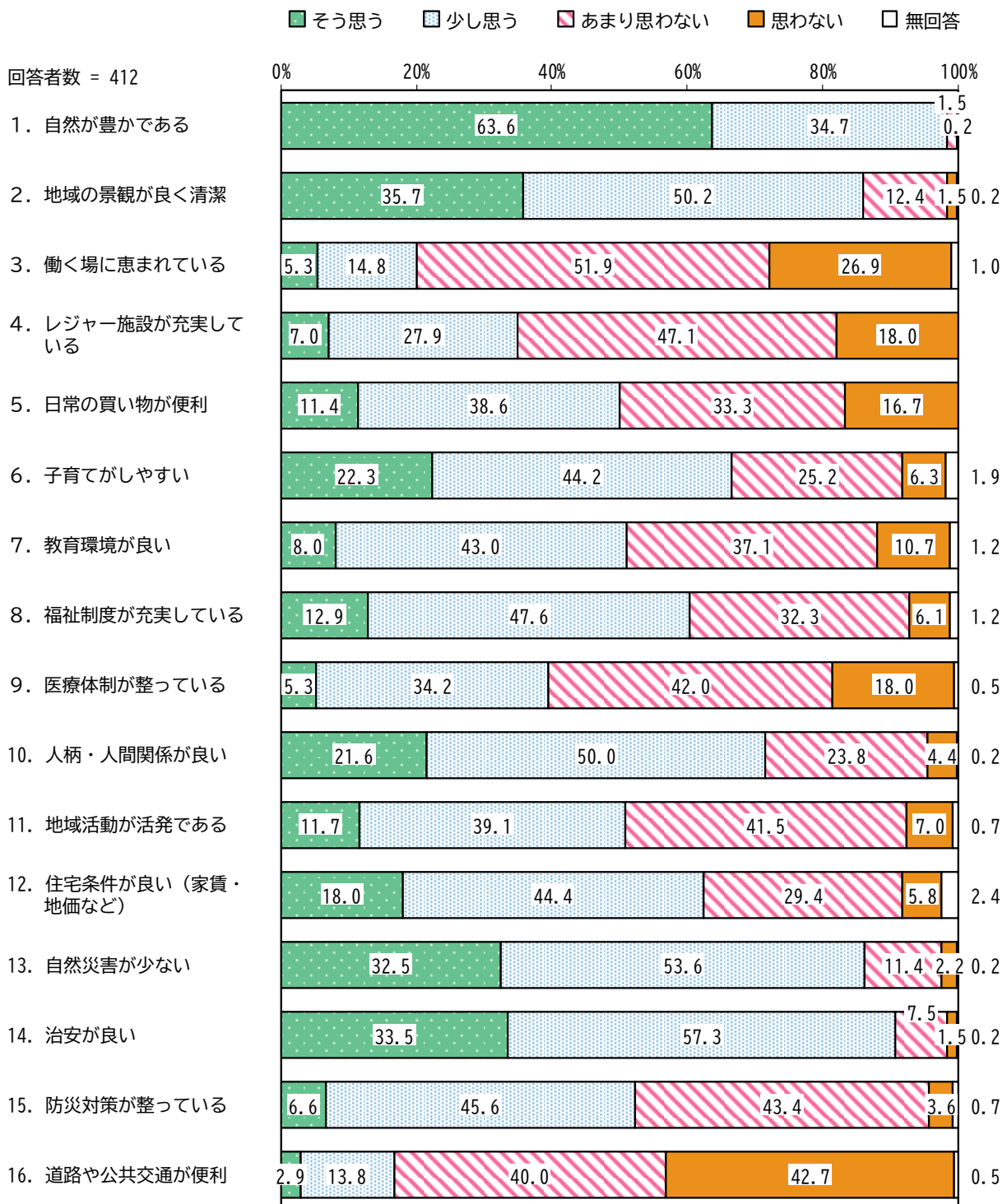
「高島市内」の割合が61.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 412



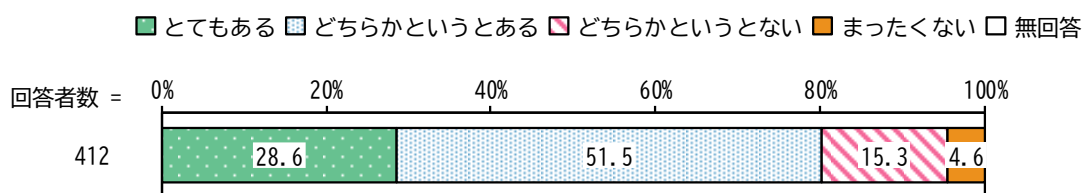
問3 高島市に関する次の項目について、どのように感じていますか。
(それぞれ当てはまる数字に○をしてください)

特に、『1. 自然が豊かである』『2. 地域の景観が良く清潔』『6. 子育てがしやすい』『10. 人柄・人間関係が良い』『13. 自然災害が少ない』『14. 治安が良い』で「そう思う」と「少し思う」を合わせた“思う”が高くなっているのに対し、『3. 働く場に恵まれている』『4. レジャー施設が充実している』『9. 医療体制が整っている』『16. 道路や公共交通が便利』で「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”が高くなっています。



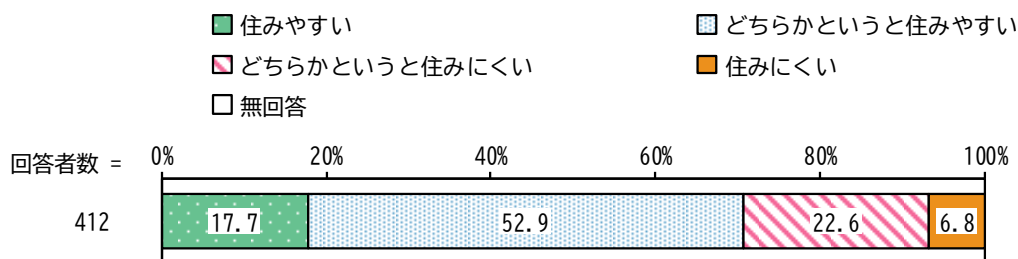
問4 あなたは高島市に誇りや愛着（好感）がありますか。（○印はひとつ）

「とてもある」「どちらかというところある」を合わせた“愛着がある”の割合が 80.1%、「どちらかというところない」「まったくない」を合わせた“愛着がない”の割合が 19.9%となっています。



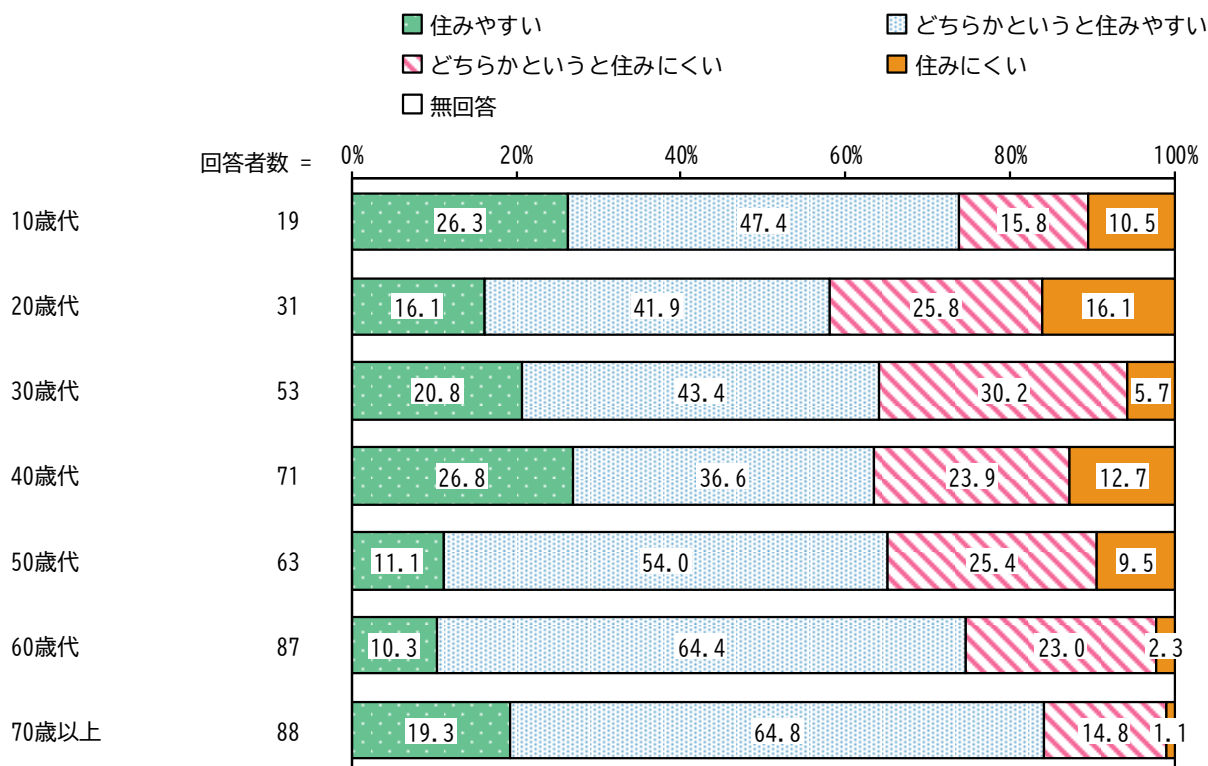
問5 あなたは高島市を住みやすいまちだと思いますか。（○印はひとつ）

「住みやすい」「どちらかというところ住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が 70.6%、「どちらかというところ住みにくい」「住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が 29.4%となっています。



【年代別】

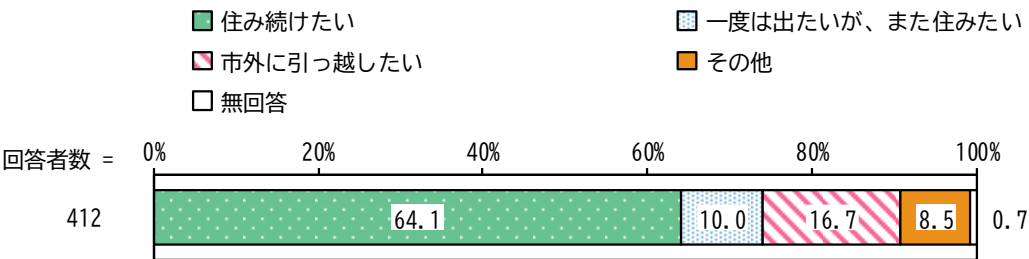
年代別にみると、年代が 20 歳代まで下がるにつれて“住みにくい”の割合が高くなる傾向にあります。



問6 あなたはこれからも高島市に住み続けたいですか。(○印はひとつ)

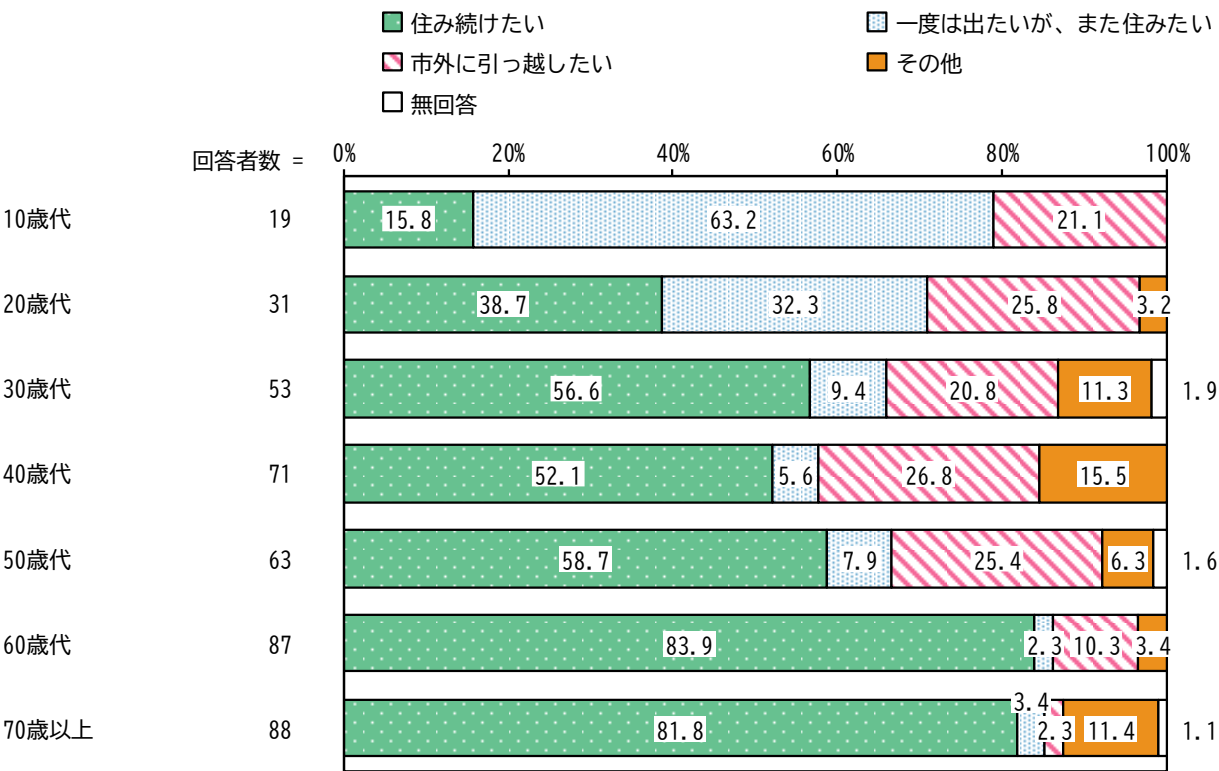
「住み続けたい」の割合が64.1%、「一度は出たいが、また住みたい」の割合が10.0%、「市外に引っ越したい」の割合が16.7%となっています。

「その他」の意見として、「家族や仕事の事情に合わせる」「住み続けるしかない」などの意見がありました。



【年代別】

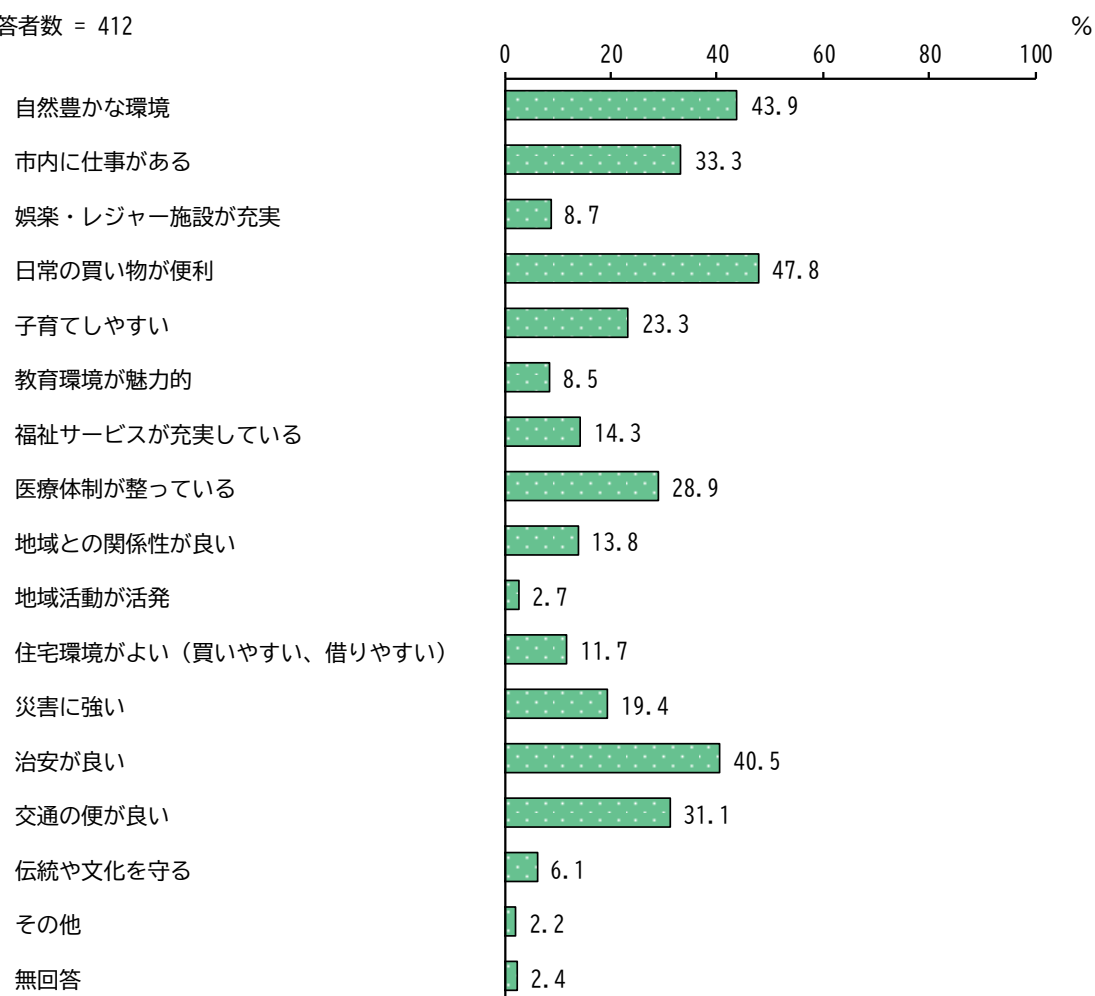
年代別にみると、年代が上がるにつれて「住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられます。



問7 高島市に住みたい・住み続けたいと思える理由として、あなたが重視すること（必要だと思うこと）は何ですか。（○印は3つまで）

「日常の買い物が便利」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「自然豊かな環境」の割合が 43.9%、「治安が良い」の割合が 40.5%となっています。

回答者数 = 412



【年代別】

年代別にみると、70 歳以上で「自然豊かな環境」、40 歳代で「市内に仕事がある」「治安が良い」、10 歳代で「娯楽・レジャー施設が充実」、20 歳代で「日常の買い物が便利」「住宅環境がよい（買いやすい、借りやすい）」「交通の便が良い」、30 歳代で「子育てしやすい」、50 歳代で「医療体制が整っている」の割合が高くなっています。

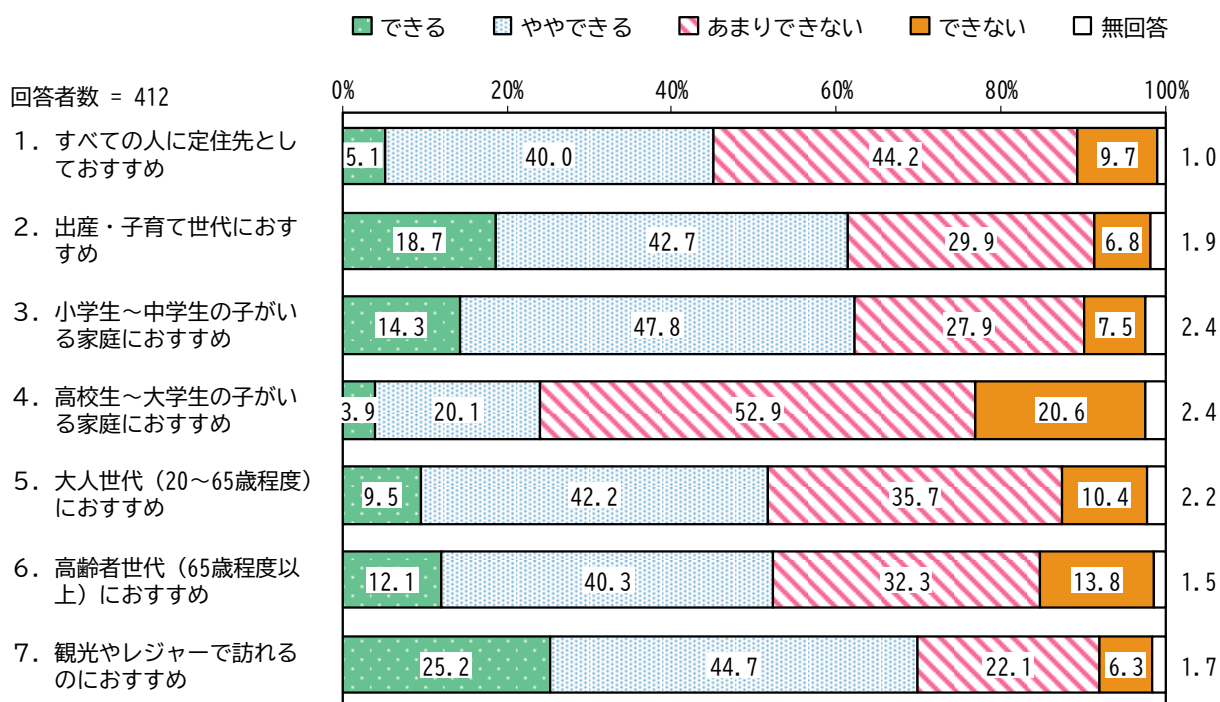
単位：％

区分	回答者数（件）	自然豊かな環境	市内に仕事がある	娯楽・レジャー施設が充実	日常の買い物が便利	子育てしやすい	教育環境が魅力的	福祉サービスが充実している	医療体制が整っている
全 体	412	43.9	33.3	8.7	47.8	23.3	8.5	14.3	28.9
10歳代	19	47.4	21.1	21.1	52.6	31.6	10.5	5.3	10.5
20歳代	31	25.8	35.5	12.9	67.7	22.6	6.5	16.1	22.6
30歳代	53	28.3	30.2	11.3	47.2	62.3	17.0	5.7	28.3
40歳代	71	33.8	47.9	16.9	59.2	33.8	14.1	9.9	25.4
50歳代	63	39.7	42.9	9.5	47.6	14.3	7.9	12.7	46.0
60歳代	87	49.4	35.6	3.4	42.5	12.6	3.4	20.7	35.6
70歳以上	88	64.8	15.9	1.1	36.4	6.8	4.5	19.3	19.3

区分	地域との関係性が良い	地域活動が活発	住宅環境がよい（買いやすい、借りやすい）	災害に強い	治安が良い	交通の便が良い	伝統や文化を守る	その他	無回答
全 体	13.8	2.7	11.7	19.4	40.5	31.1	6.1	2.2	2.4
10歳代	15.8	5.3	15.8	15.8	31.6	52.6	5.3	0.0	0.0
20歳代	16.1	0.0	29.0	22.6	45.2	61.3	3.2	0.0	6.5
30歳代	11.3	0.0	17.0	18.9	39.6	22.6	5.7	1.9	1.9
40歳代	21.1	1.4	11.3	12.7	50.7	38.0	4.2	1.4	0.0
50歳代	6.3	3.2	9.5	23.8	30.2	44.4	4.8	3.2	1.6
60歳代	14.9	2.3	8.0	20.7	36.8	25.3	9.2	2.3	1.1
70歳以上	12.5	5.7	6.8	20.5	44.3	11.4	6.8	3.4	5.7

問8 あなたは友人や知人に高島市をおすすめできますか。
(それぞれ当てはまる数字に○をしてください)

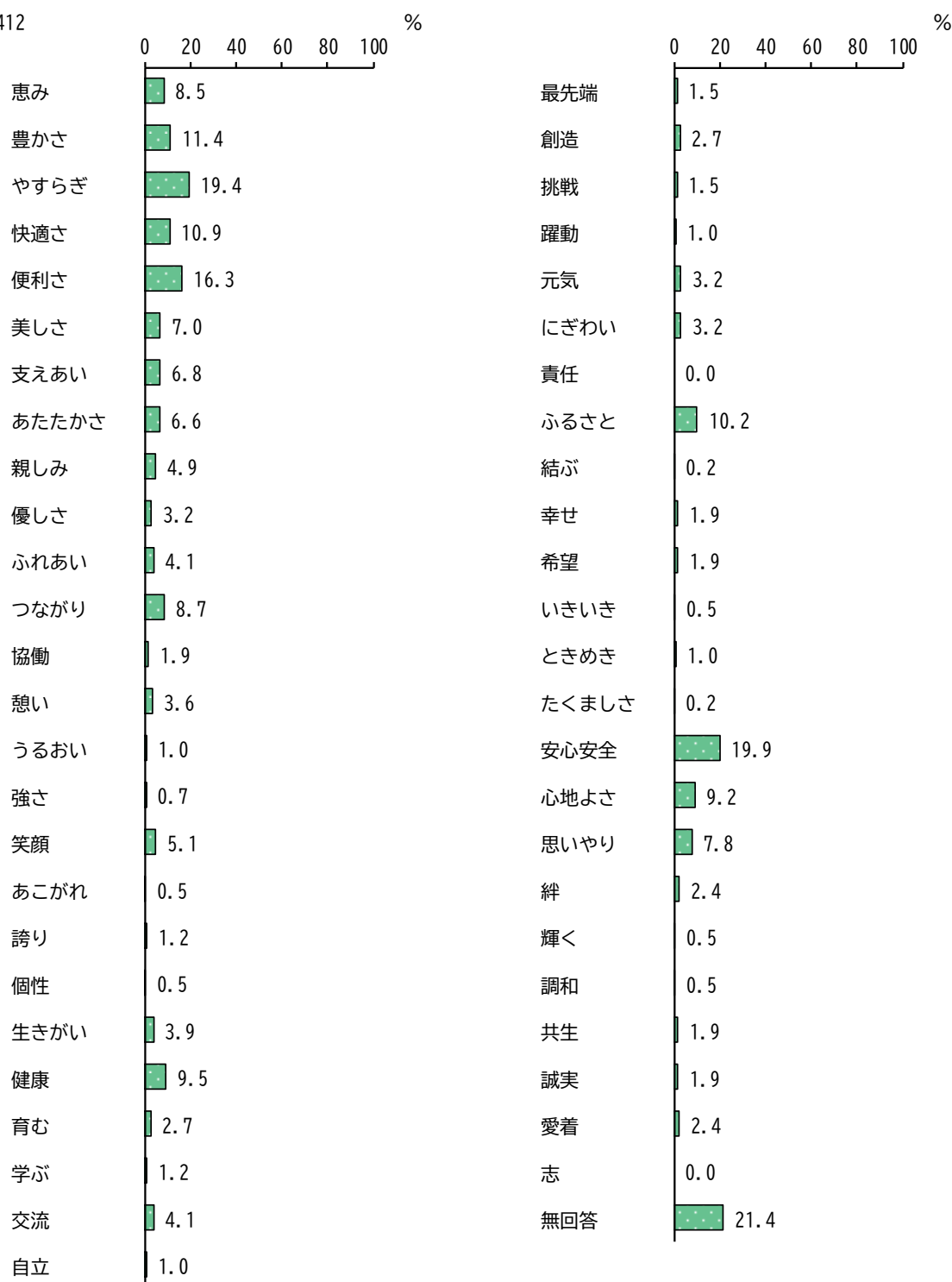
特に、『2. 出産・子育て世代におすすめ』『3. 小学生～中学生の子がいる家庭におすすめ』『7. 観光・レジャーで訪れるのにおすすめ』で「できる」と「ややできる」を合わせた“できる”が高くなっています。一方、『4. 高校生～大学生の子がいる家庭におすすめ』で「あまりできない」と「できない」を合わせた“できない”が高くなっています。



問9 あなたが将来住みたいと思う”未来の高島市”を表す言葉（キーワード）として、どのような言葉がふさわしいと思いますか。（○印は5つまで）

「安心安全」の割合が19.9%と最も高く、次いで「やすらぎ」の割合が19.4%、「便利さ」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 412



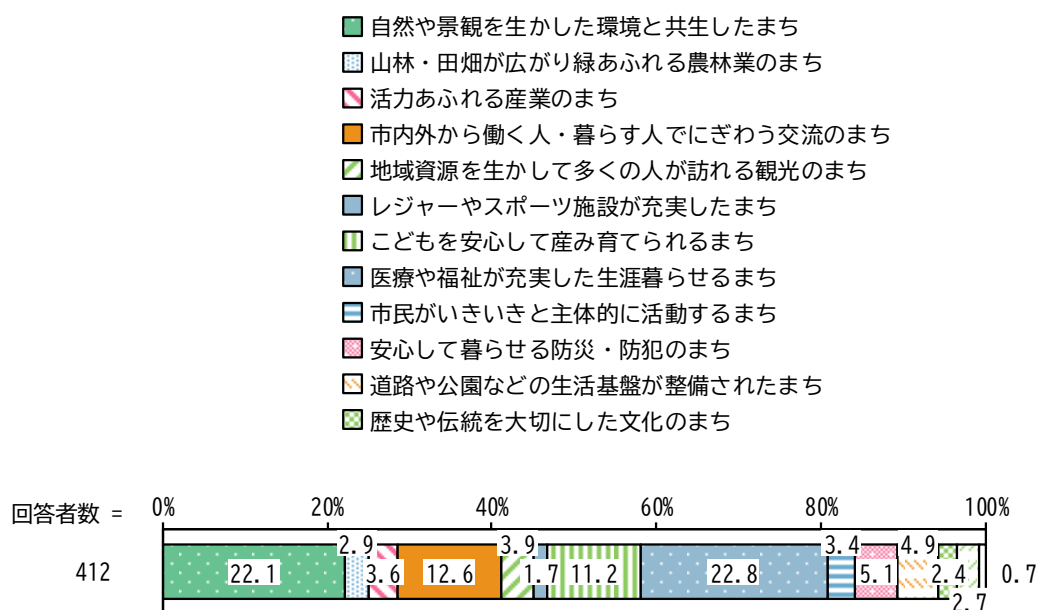
問 10 問 9 以外であなたが”未来の高島市”にふさわしいと思う言葉（キーワードやキャッチフレーズ）があれば、自由に記載してください。

問 9 以外で記載があった主なキーワードについては以下の通りです。

煌めき	和む	老後も安心	歴史	利便性	癒し	豊かな自然
平和	文化的	福祉	働く場所	田畑	丁度いい距離感	地域内のつながり
爽やか	遷移	静寂	人間味	信頼	助け合い	自由
四季	交通	活力	楽しさ	医療	ゆったり	やりがい
のんびり	ぬくもり	スローライフ	スマート	スポーツ	穏やか	ありのまま

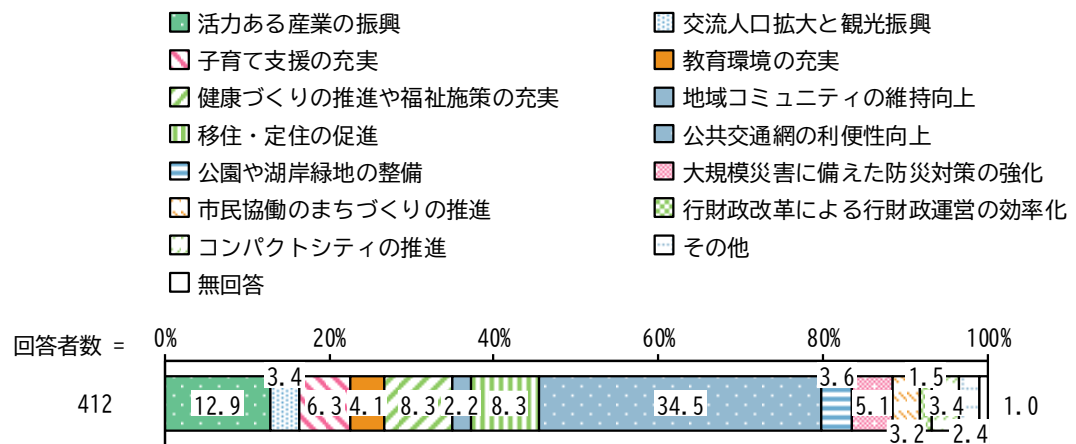
問 11 将来の高島市について、どのようなまちを目指してほしいですか。（○印はひとつ）

「医療や福祉が充実した生涯暮らせるまち」の割合が 22.8%と最も高く、次いで「自然や景観を生かした環境と共生したまち」の割合が 22.1%、「市内外から働く人・暮らす人でにぎわう交流のまち」の割合が 12.6%となっています。



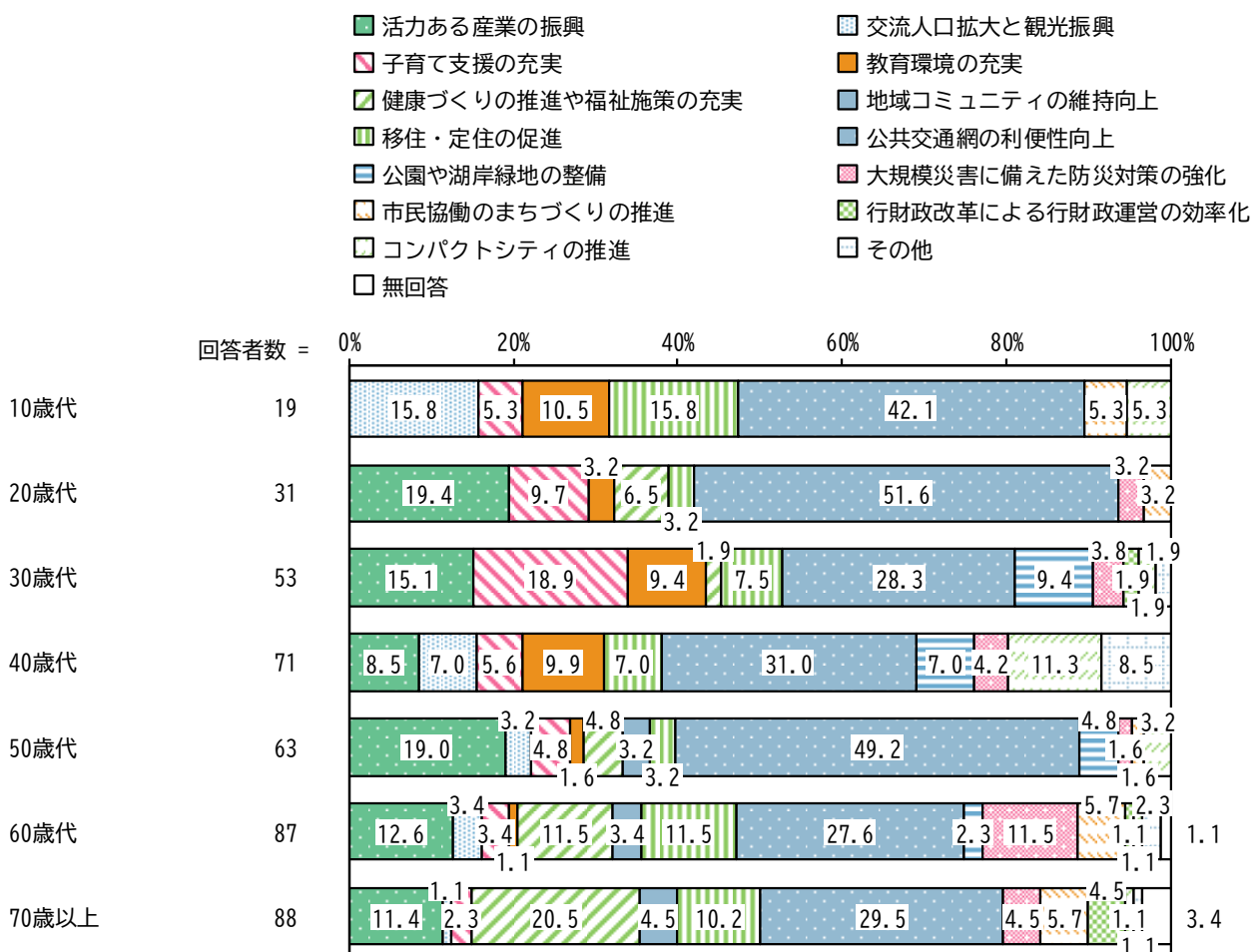
問 12 今後、あなたがまちづくりで特に推進してほしい取組は何ですか。(○印はひとつ)

「公共交通網の利便性向上」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「活力ある産業の振興」の割合が 12.9%となっています。



【年代別】

年代別にみると、10 歳代で「交流人口拡大と観光振興」、30 歳代で「子育て支援の充実」、70 歳以上で「健康づくりの推進や福祉施策の充実」、20 歳代、50 歳代で「公共交通網の利便性向上」の割合が他年代と比較して特に高くなっています。

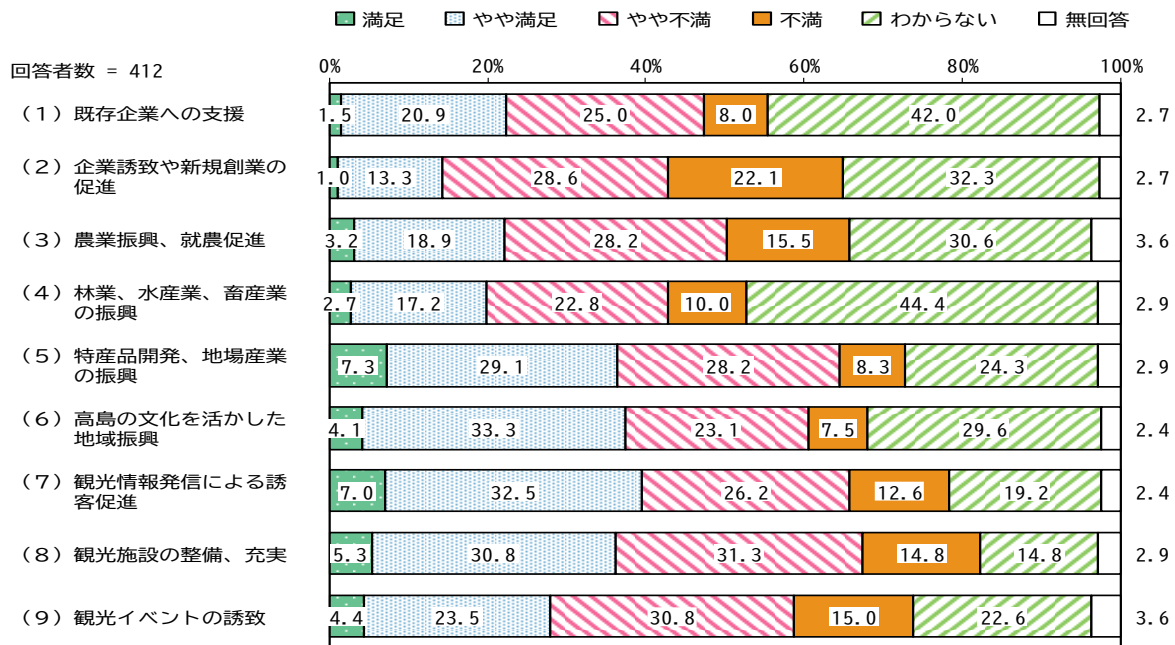


問 13 あなたは次の項目について、現状の満足度や今後の重要度について、どのように感じていますか。(項目ごとにあなたの考えに近いものを1つ選び、○印をしてください。)

【産業・経済分野】

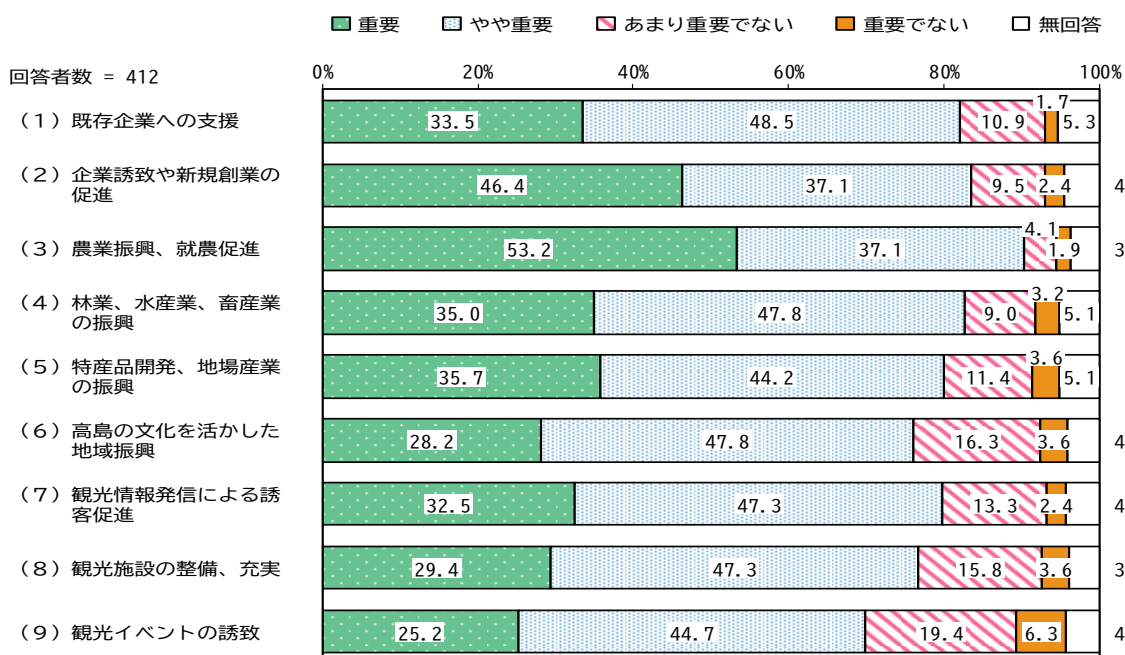
現状の満足度

特に、『(7) 観光情報発信による誘客促進』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『(2) 企業誘致や新規創業の促進』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



今後の重要度

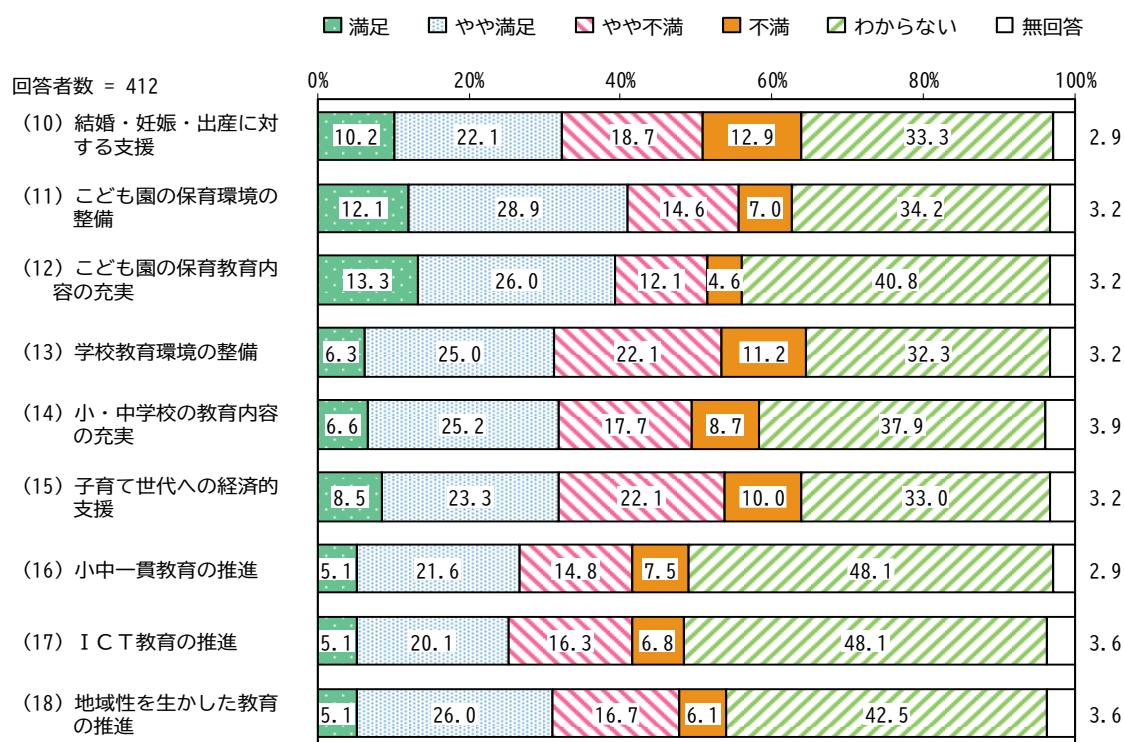
現状の満足度結果で満足度が低い結果となった『(2) 企業誘致や新規創業の促進』とともに、『(3) 農業振興、就農促進』で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が高くなっています。



【子育て・教育分野】

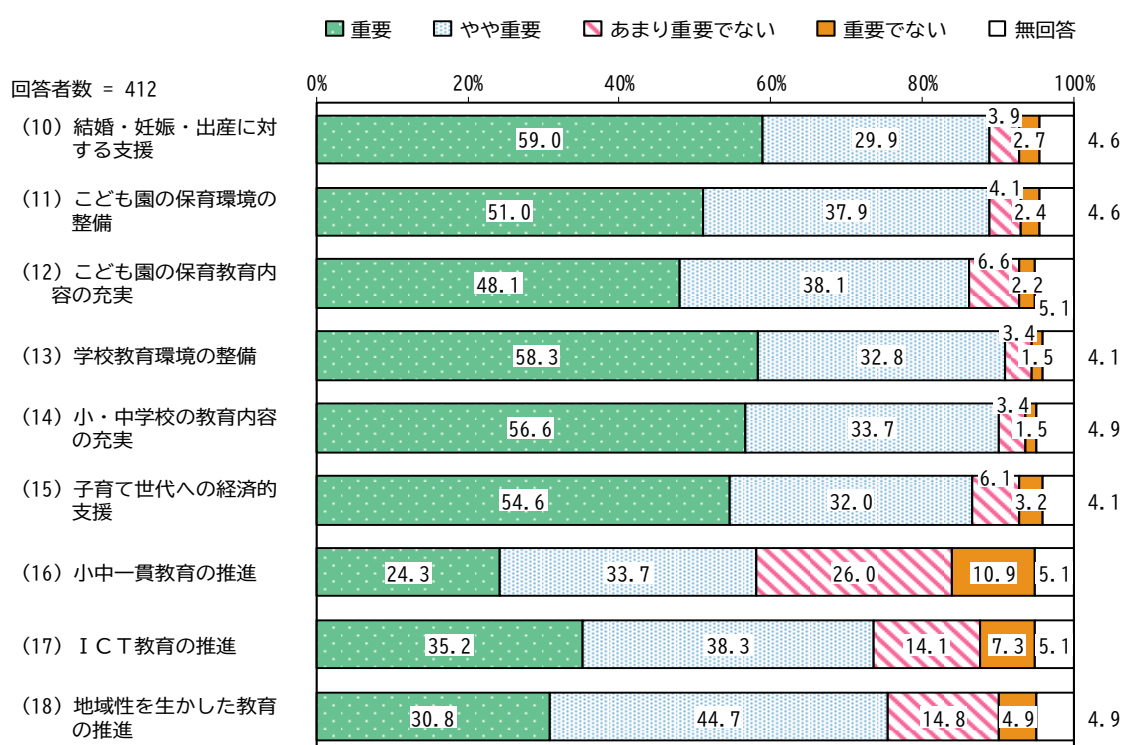
現状の満足度

特に、『(11) こども園の保育環境の整備』『(12) こども園の保育教育内容の充実』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『(13) 学校教育環境の整備』『(15) 子育て世代への経済的支援』では「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の方が高くなっています。



今後の重要度

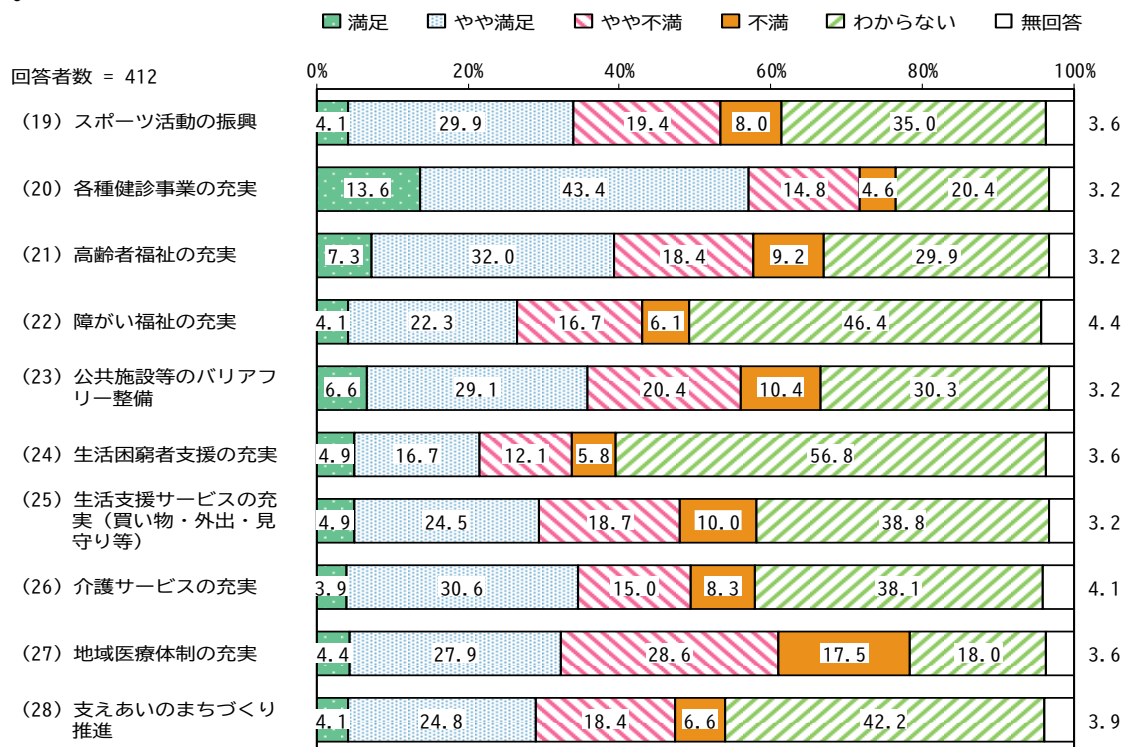
現状の満足度結果で“満足”が高くなったこども園に関する項目と比較して、『(13) 学校教育環境の整備』『(14) 小・中学校の教育内容の充実』の学校教育に関する項目で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が高くなっています。



【健康・福祉分野】

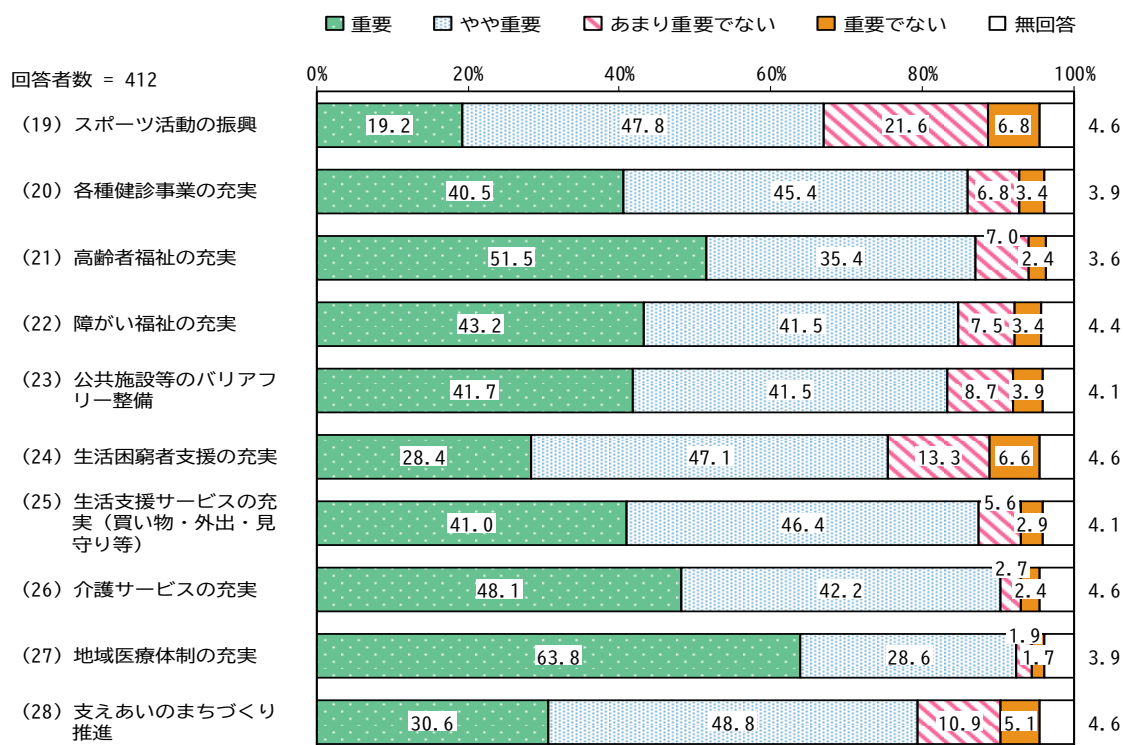
現状の満足度

特に、『(20) 各種健診事業の充実』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『(27) 地域医療体制の充実』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



今後の重要度

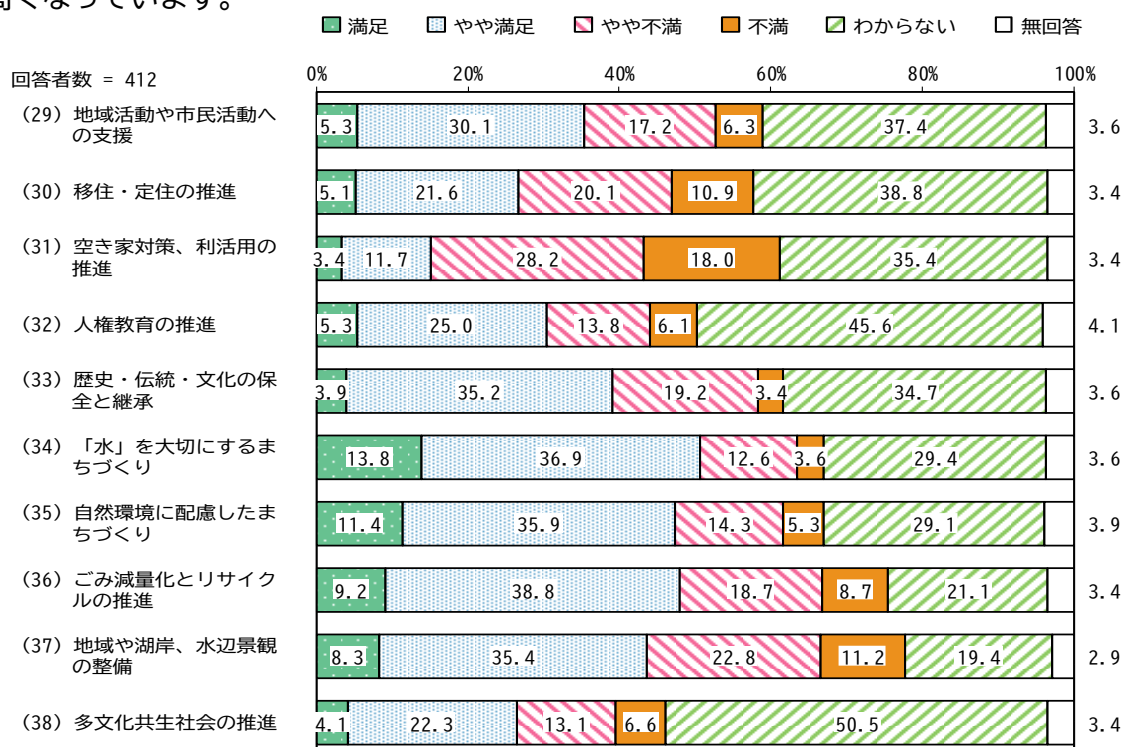
現状の満足度結果で満足度が低い結果となったとおり、『(27) 地域医療体制の充実』で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が高くなっています。



【暮らし・文化分野】

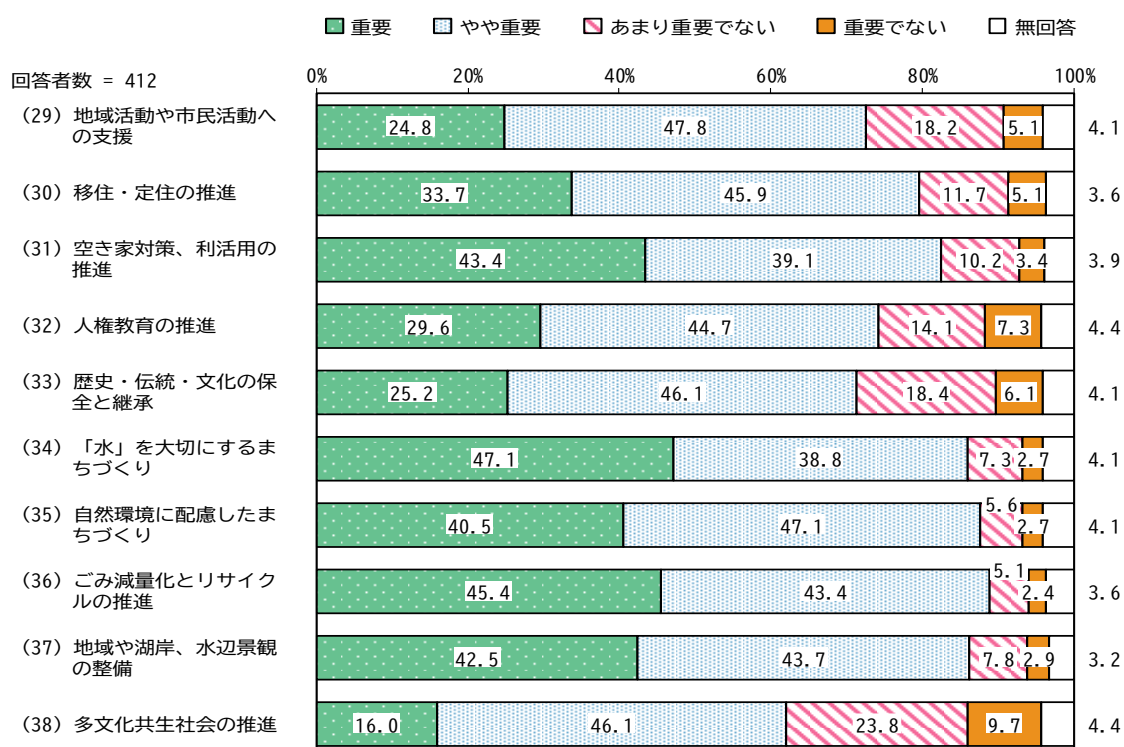
現状の満足度

特に、『(34)「水」を大切にするまちづくり』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『(31) 空き家対策、利活用の推進』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



今後の重要度

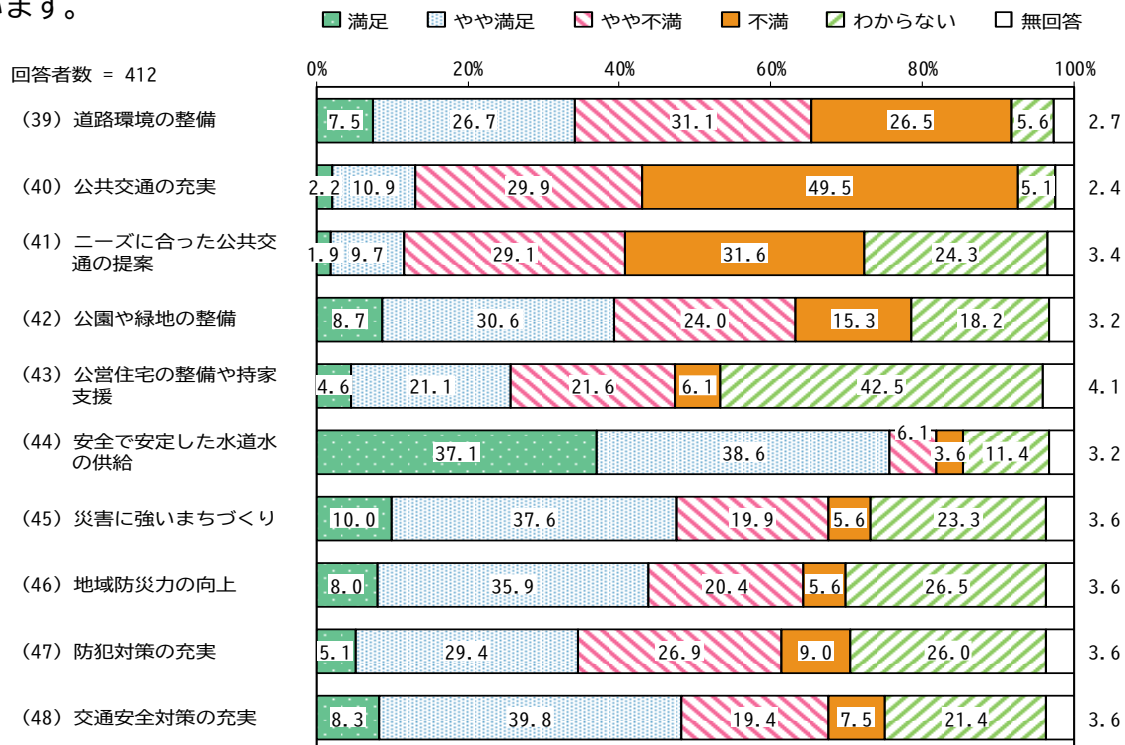
現状の満足度結果で満足度が低い結果となった『(31) 空き家対策、利活用の推進』とともに、『(36) ごみ減量化とリサイクルの推進』をはじめとした、水や自然環境に配慮したまちづくりの項目で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が高くなっています。



【生活基盤分野】

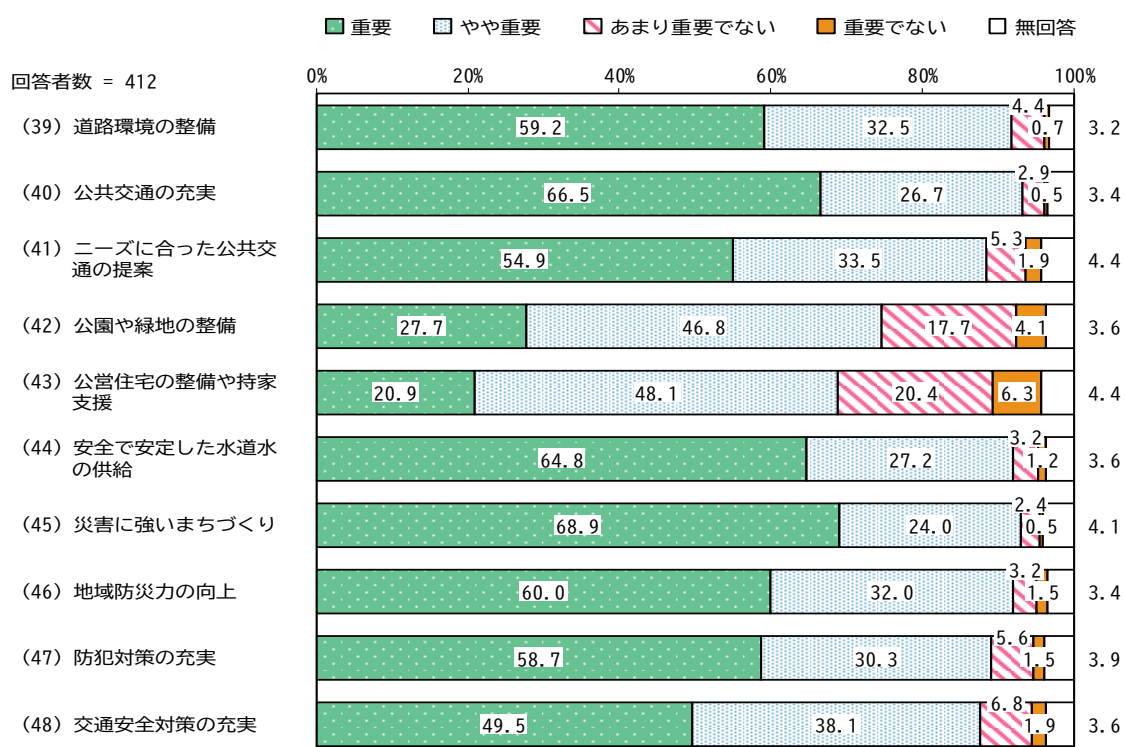
現状の満足度

特に、『(44) 安全で安定した水道水の供給』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『(40) 公共交通の充実』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が高くなっています。



今後の重要度

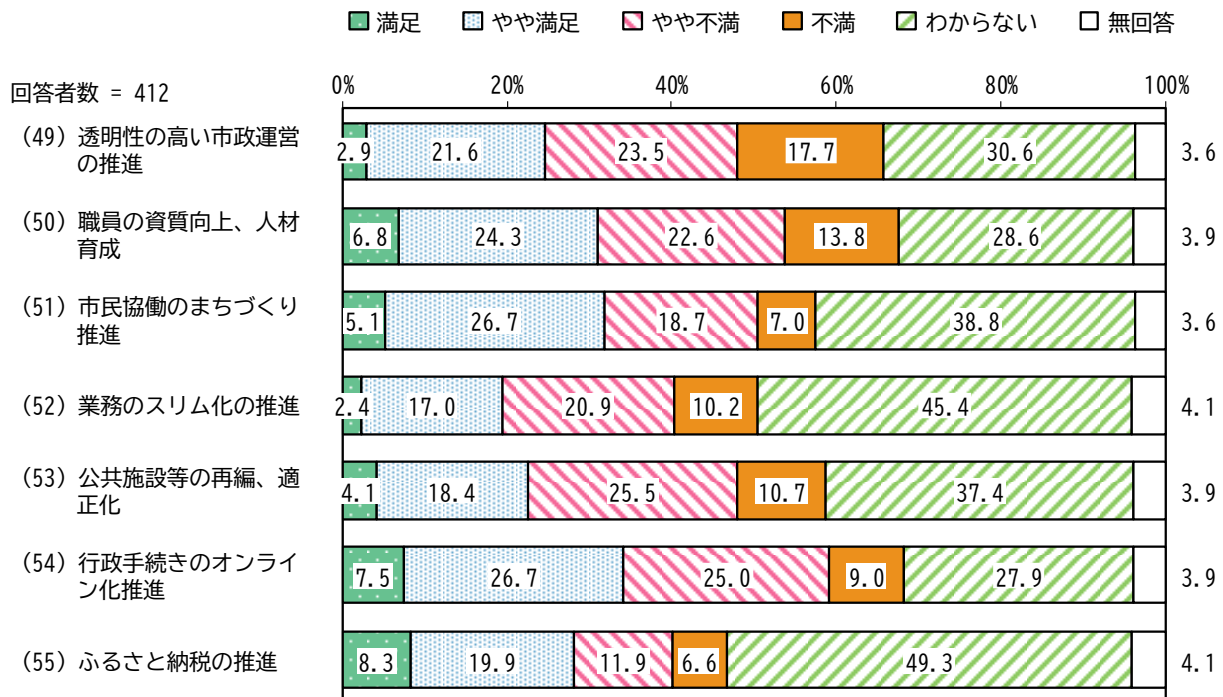
現状の満足度結果で満足度が低い結果となった『(40) 公共交通の充実』をはじめ、道路や水道といった日常生活に深くかかわる項目とともに、『(45) 災害に強いまちづくり』など防災に関する項目で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が高くなっています。



【行政経営分野】

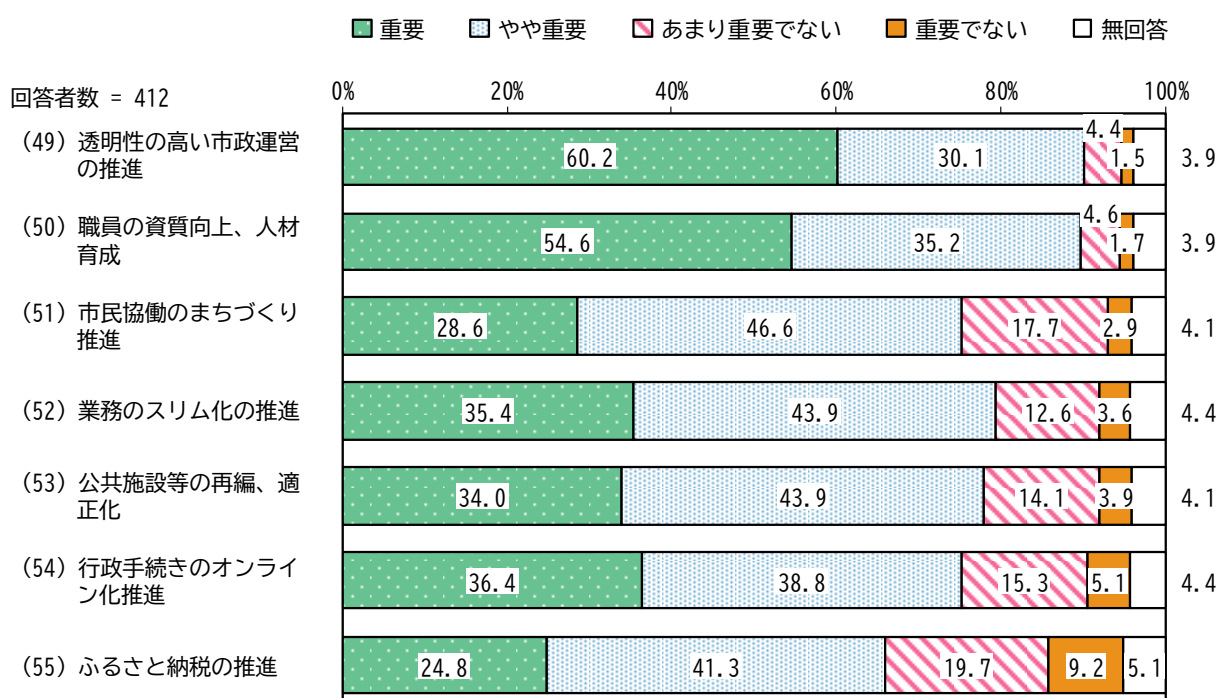
現状の満足度

特に、『(51) 市民協働のまちづくり推進』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『(49) 透明性の高い市政運営の推進』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の方が高くなっています。



今後の重要度

現状の満足度結果で満足度が低い結果となった『(49) 透明性の高い市政運営の推進』とともに、『(50) 職員の資質向上、人材育成』で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が高くなっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・重要度の得点化

55 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
満足	→	2 点		重要	→	2 点
やや満足	→	1 点		やや重要	→	1 点
やや不満	→	-1 点		あまり重要ではない	→	-1 点
不満	→	-2 点		重要でない	→	-2 点
わからない・無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

$2 \text{点} \times \text{「満足（重要）」の回答数}$
 $+ 1 \text{点} \times \text{「やや満足（やや重要）」の回答数}$
 $- 1 \text{点} \times \text{「やや不満（あまり重要ではない）」の回答数}$
 $- 2 \text{点} \times \text{「不満（重要でない）」の回答数} / \text{わからない・無回答を除く回答数}$

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

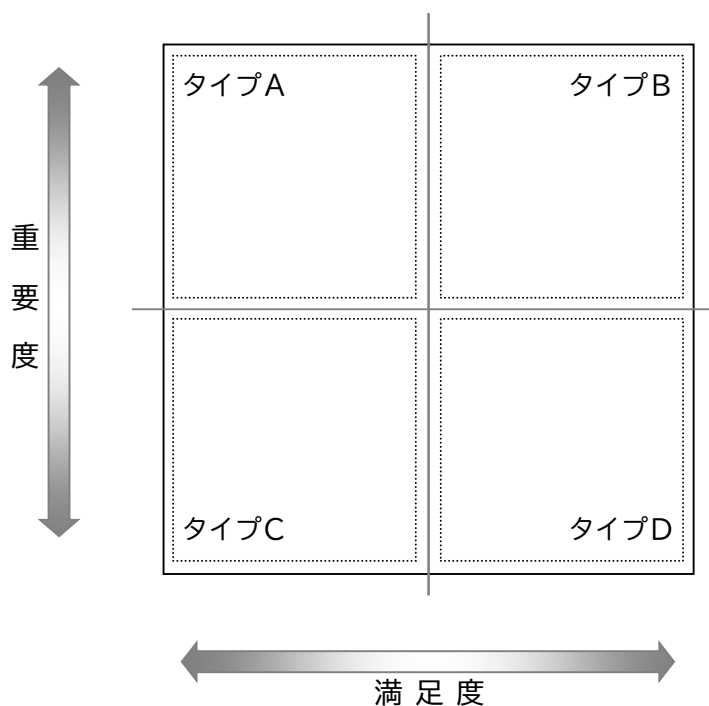
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名				施策名
(44)安全で安定した水道水の供給	1.16	第1位	1.65	(45)災害に強いまちづくり
(34)「水」を大切に作るまちづくり	0.67	第2位	1.61	(40)公共交通の充実
(20)各種健診事業の充実	0.61	第3位	1.57	(27)地域医療体制の充実 (44)安全で安定した水道水の供給
(2)企業誘致や新規創業の促進	-0.88	第53位	0.53	(19)スポーツ活動の振興
(41)ニーズに合った公共交通の提案	-1.09	第54位	0.37	(38)多文化共生社会の推進
(40)公共交通の充実	-1.23	最下位	0.36	(16)小中一貫教育の推進

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA 満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB 満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC 満足度は低く、重要度も低い

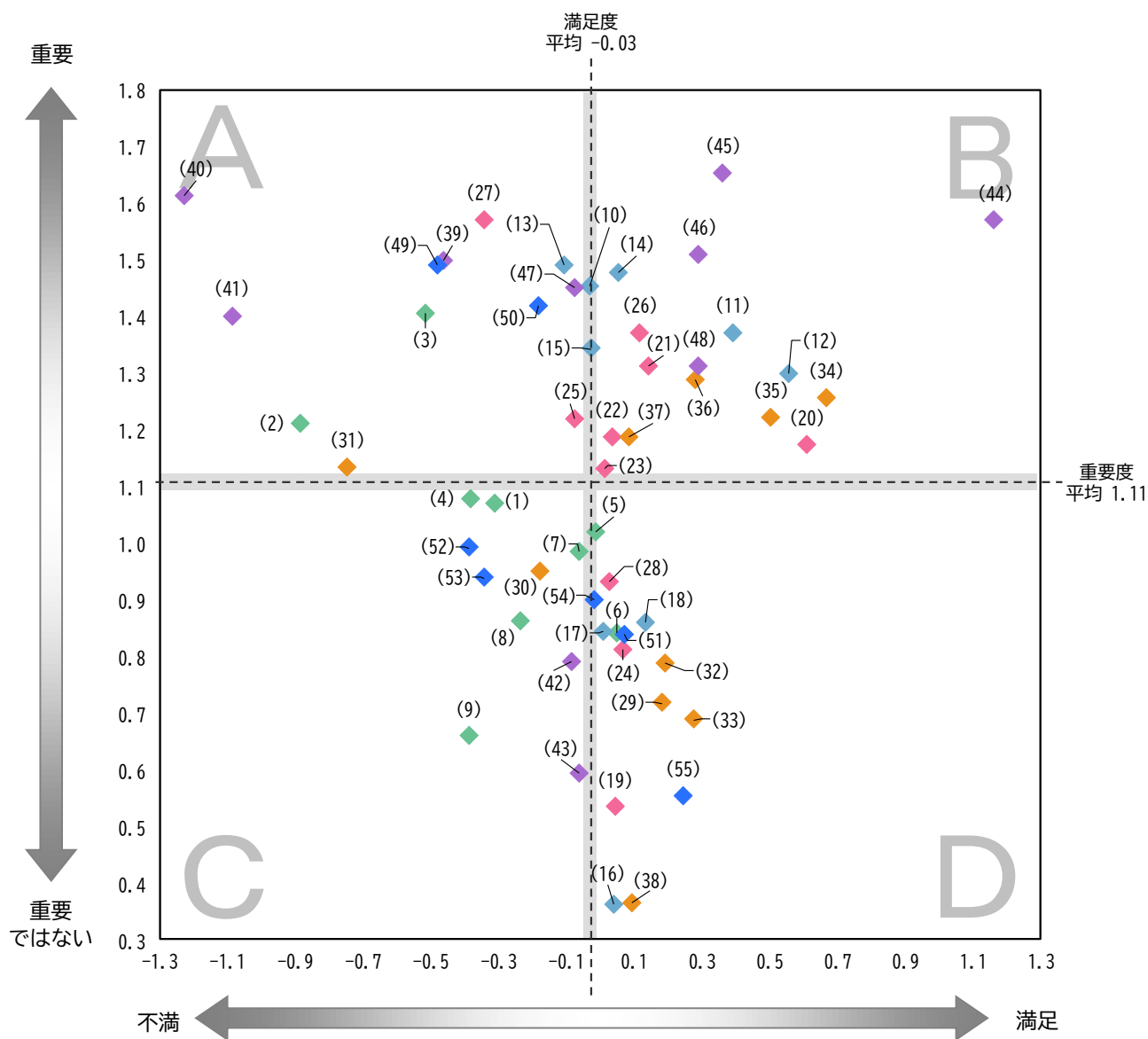
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD 満足度は高い、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 412）

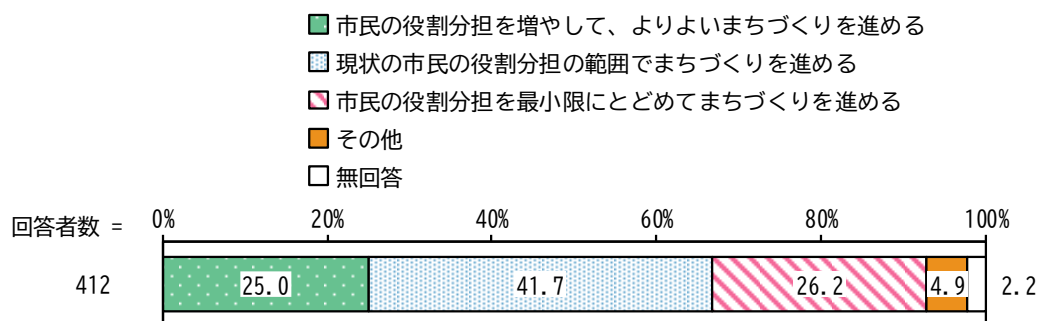
満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(44)安全で安定した水道水の供給』となっています。また、満足度が低く、重要度が高い施策（タイプA）は『(40)公共交通の充実』となっており、今後の重点課題として検討が必要となっています。



分 野	項 目
◆産業・経済分野	(1) 既存企業への支援
	(2) 企業誘致や新規創業の促進
	(3) 農業振興、就農促進
	(4) 林業、水産業、畜産業の振興
	(5) 特産品開発、地場産業の振興
	(6) 高島の文化を活かした地域振興
	(7) 観光情報発信による誘客促進
	(8) 観光施設の整備、充実
	(9) 観光イベントの誘致
◆子育て・教育分野	(10) 結婚・妊娠・出産に対する支援
	(11) こども園の保育環境の整備
	(12) こども園の保育教育内容の充実
	(13) 学校教育環境の整備
	(14) 小・中学校の教育内容の充実
	(15) 子育て世代への経済的支援
	(16) 小中一貫教育の推進
	(17) ICT 教育の推進
	(18) 地域性を生かした教育の推進
◆健康・福祉分野	(19) スポーツ活動の振興
	(20) 各種健診事業の充実
	(21) 高齢者福祉の充実
	(22) 障がい福祉の充実
	(23) 公共施設等のバリアフリー整備
	(24) 生活困窮者支援の充実
	(25) 生活支援サービスの充実（買い物・外出・見守り等）
	(26) 介護サービスの充実
	(27) 地域医療体制の充実
	(28) 支えあいのまちづくり推進
◆暮らし・文化分野	(29) 地域活動や市民活動への支援
	(30) 移住・定住の推進
	(31) 空き家対策、利活用の推進
	(32) 人権教育の推進
	(33) 歴史・伝統・文化の保全と継承
	(34) 「水」を大切に作るまちづくり
	(35) 自然環境に配慮したまちづくり
	(36) ごみ減量化とリサイクルの推進
	(37) 地域や湖岸、水辺景観の整備
	(38) 多文化共生社会の推進
◆生活基盤分野	(39) 道路環境の整備
	(40) 公共交通の充実
	(41) ニーズに合った公共交通の提案
	(42) 公園や緑地の整備
	(43) 公営住宅の整備や持家支援
	(44) 安全で安定した水道水の供給
	(45) 災害に強いまちづくり
	(46) 地域防災力の向上
	(47) 防犯対策の充実
	(48) 交通安全対策の充実
◆行政経営分野	(49) 透明性の高い市政運営の推進
	(50) 職員の資質向上、人材育成
	(51) 市民協働のまちづくり推進
	(52) 業務のスリム化の推進
	(53) 公共施設等の再編、適正化
	(54) 行政手続きのオンライン化推進
	(55) ふるさと納税の推進

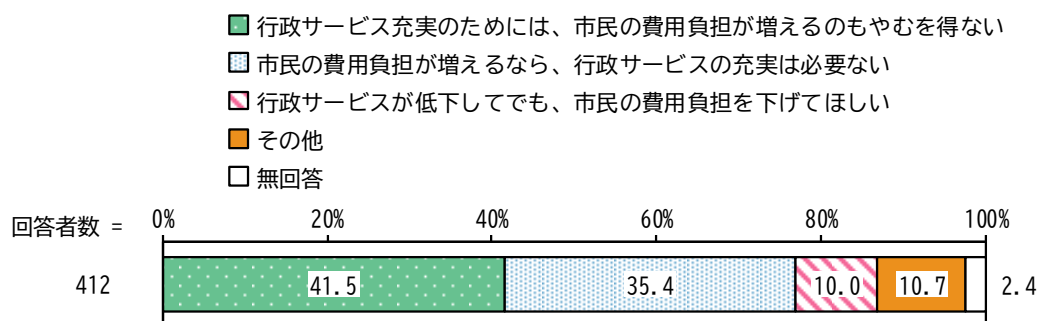
問 14 あなたは市民協働のまちづくりについて、どのように感じますか。(○印はひとつ)

「現状の市民の役割分担の範囲でまちづくりを進める」の割合が 41.7%と一番高くなっており、「市民の役割分担を増やして、よりよいまちづくりを進める」の割合が 25.0%、「市民の役割分担を最小限にとどめてまちづくりを進める」の割合が 26.2%となっています。



問 15 施策の充実や市政の将来を見据えた取組を進めるためには財源が必要になります。人口減少や物価高騰等の影響もあり市の財政状況が厳しくなる中、行政サービスと負担の関係について、あなたはどのように感じますか。(○印はひとつ)

「行政サービス充実のためには、市民の費用負担が増えるのもやむを得ない」の割合が 41.5%、「市民の費用負担が増えるなら、行政サービスの充実はやむを得ない」の割合が 35.4%、「行政サービスが低下してでも、市民の費用負担を下げたい」の割合が 10.0%となっています。



問 16 現在、市で行っている行政サービスの効率化・スリム化に向けたご意見や評価について、ご自由にお書きください。

行政サービスの効率化・スリム化に向けて、120 件の意見や評価が寄せられました。主な内容については以下の通りです。

【効率化・スリム化の内容や成果の不透明さ】

- ・ 具体的に何がどのように効率化・スリム化されているのか、市民に分かりやすく可視化・広報してほしい
- ・ どの業務やサービスが対象なのか、除外するものやその理由を説明してほしい

【高齢者や特定の層に対する配慮】

- ・ デジタル化やオンライン手続きへの移行について、高齢者やパソコンを持たない層にも利用しやすい仕組みを整備すべき
- ・ 住民の年齢構成や地域性に合わせた柔軟な対応をしてほしい

【行政サービスの質と公平性の維持】

- ・ 効率化・スリム化で減員や機能縮小が進むと、サービスの質低下や市民の負担増大に繋がる可能性がある
- ・ 地域や担当ごとにサービスの質にばらつきがあるため、全市一律ではなく公平な市政を行ってほしい

【人材育成・適正配置と組織改革】

- ・ 職員の能力を最大限に活かし、適正な配置やマニュアル化・仕組み化を進めることが必要
- ・ 減員や業務委託の検討にあたっては、職員・市民双方の負担軽減を重視すべき

【市民目線の説明と参加促進】

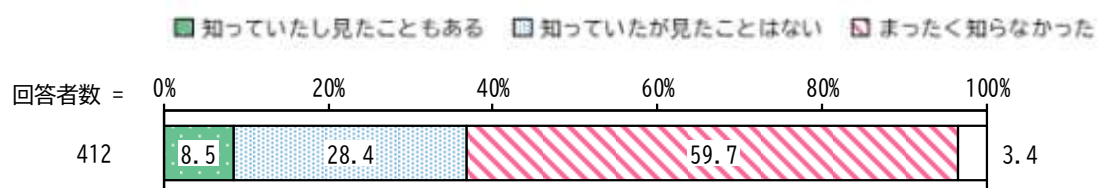
- ・ 市民への説明や、高島出身の著名人などを通じて、スリム化・効率化や高島市の取り組みがどのように進められているかを発信してほしい

【税金や財政の効率的活用】

- ・ 市民が納めた税金を無駄なく、必要な施策に効果的に使ってほしい
- ・ 財政負担を市民に分かりやすく示し、効率化によるコスト削減がどのように還元されるか明確にしてほしい

問 17 あなたは「高島市総合計画」を知っていましたか。(○印はひとつ)

「知っていたし見たこともある」の割合が 8.5%、「知っていたが見たことはない」の割合が 28.4%、「まったく知らなかった」の割合が 59.7%となっています。



問 18 これからのまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

本市のまちづくりについて、163 件の意見や提案が寄せられました。要約した内容については以下のとおりです。

【経済・産業】

- 若者が市内に残れるよう、企業誘致や地場産業の育成を進め、働ける職場や農業参入の機会を確保
- 自然や農業を活かし、差別化された観光資源を育成
- 連泊滞在型観光や保養所、サテライトオフィスの誘致など移住促進にもつなげる環境整備が必要
- 国道 161 号線の 4 車線化や湖西線の運行改善を通じて、企業進出を積極的に促進
- レジャー・商業施設を誘致して、市内で遊びや買い物ができるようにしてほしい

【子育て・教育】

- 産前産後ケアを充実させて、わが子に「高島で産んで育てや」とお勧めできるようになると良い
- 児童館や雨天でも遊べる施設の整備、こども向けイベント開催など、市内で過ごせる場の提供
- 市外への流出防止のため、高校の整備や教育環境の拡充、高校生・大学生への教育支援が必要
- 市外の学校へ通学する子に対し、将来市内で就職すること等を条件に授業料や通学費を支援しては

【健康・福祉】

- バリアフリー化や免許返納支援、移動販売など、高齢者が安心して暮らせる地域づくりが必要
- 設備が古い病院の整備や地域医療の信頼向上に向けた施策が求められる
- 一人暮らし高齢者への対応として住民同士の助け合いを活性化、住民のボランティア精神も必要
- 障がいのある人が住みやすいまちづくりも包括的に進めるべき

【暮らし・文化】

- 夏祭りなど地域の祭りや季節行事を促進し、市民の交流と文化的活気の再生を期待
- 琵琶湖でのレジャーや交通マナー対策を図りつつ、移住者増加に伴う景観保護への配慮が重要
- 市民イベントで住民間の交流機会を増やし、地域アイデンティティを守りつつ活気ある環境を作る

【生活基盤】

- 湖西線の運行安定や京阪神方面へのアクセス改善のための道路整備が必要
- ゴミの散乱や道路わきの草刈りなど、歩行者の安全確保や景観維持のために対策が必要
- 避難道路の整備や防災用品の設置を進め、住民が安心して暮らせる環境を提供
- 空き家や無縁墓地の増加に対する対策が必要

【行政経営】

- 行政と市民の対話を深め、意見を反映する仕組みやアンケート調査の効率化を図る
- 施設やサービスの廃止だけでなく、もしもに備えて残したり利用しやすくなる工夫や努力が必要
- 実効性のある計画を期待する、計画や市の取組についてもっと広く周知すべき
- 「高島市に帰ってきたい」と思えるようにしないといけない、転出した人の意見をもっと聞いては